

「糖尿病」という病名が変更になる?!

近い将来、「糖尿病」という病名が他の名称に変更になるかもしれません。

通称の候補として、英語名の「ダイアベティス」が提案されており、今から1~2年後に呼称変更するのか検討される予定です。当院でも昨年11月から新たに糖尿病教育入院（院内ではダイアベティス教育入院と呼んでいます）が始まっています。今まではほぼ看護師のみが教育指導を行っていましたが、現在は内分泌代謝内科部長の田中先生を筆頭に、看護師はもちろんのこと、理学療法士、管理栄養士、薬剤師、検査技師と様々な職種が関わり合って指導を行っています。指導の中でも度々出てきますが、糖尿病には様々な合併症があります。三大合併症と言われているものは「糖尿病膜症」「糖尿病腎症」「糖尿病神経障害」ですが、他にも心筋梗塞や脳梗塞など直接死亡リスクに関係する動脈硬化を引き起こすこともわかってきました。この動脈硬化の具合を評価している検査がABI（足関節上腕血圧比）や頸動脈エコーです。ABI（足関節上腕血圧比）検査は寝た状態で、両腕、両足の血圧を測定します。その足首の血圧/腕の血圧の比で表したものがABI値となります。正常では足首の血圧の方がやや高値になります。ABI値が0.9未満では、足の動脈の狭窄や閉塞がある可能性を示唆し、場合によりカテーテル治療やバイパス治療が行われます。また、ABI検査を行う際に、同時にPWV（脈波伝播速度）の計測も行っています。これは血管の硬さを判定し、血管年齢がわかります。



足のだるさや痛みを『年のせい』と決めつけていませんか？ 頸動脈エコーでは、寝た状態で首にエコーゼリーを塗って観察していくのみで、特に痛みはありません。動脈の壁に脂質などが沈着し（これがプラーク）、硬くなったり、厚くなったりすることを動脈硬化と言います。頸動脈エコーでは、このプラーク等を観察し、現時点での動脈硬化の有無、血管の詰まり具合を調べ血管の状態を評価します。

そして、将来「脳梗塞」や「心筋梗塞」などの動脈硬化性疾患になる可能性が高いのか、低いのかを推測することができます。糖尿病の方に限らず、こちらの検査も2~3年に一度は受けられることをおすすめします。

臨床検査技師 安土 真由美

枚方公済病院 がんサロン

当院では、がん患者さんやそのご家族さん同士が語り合える「がんサロン」を開催しています。

昨年は6月30日と12月1日に開催しました。はじめは皆さん緊張されていましたが、後半は患者さん同士でいろいろな話をされていました。

サロンには、当院専門職も参加しミニレクチャーをおこないます。

【2023年12月がんサロンのレクチャー内容】

栄養士: 栄養補助食品の紹介

薬剤師: 抗がん剤の副作用に使用する漢方薬について

看護師: がん治療に伴う口腔粘膜炎について



令和6年度も開催予定です。お気軽にご参加ください。

がん薬物療法看護認定看護師 多賀 亜子

【対象】当院のがん患者さんとそのご家族（*おひとり、ご家族のみの参加は自由です）

【予約】代表 072-858-8233 担当 多賀

春キャベツのトマトスープ

材料（2人分）

春キャベツ	1枚
トマト	1個
玉ねぎ	1/4個
水	400cc
コンソメ	小さじ1/2
塩	小さじ1/4
こしょう	2振り



春キャベツは、丸く小さくてふっくらとしており、葉が薄く柔らかい事が特徴です。冬に採れるキャベツと比べて、体の免疫力を高める作用があるカロテンやビタミンCが多く含まれています。スープにする事で、水に溶けやすい栄養素も逃さず摂る事ができるので、ぜひ一度作ってみてください！

管理栄養士 関

作り方

- ① 春キャベツは食べやすい大きさに切り、トマトは2cm角、玉ねぎは2cm幅に切る。
- ② 鍋に水、玉ねぎを入れて煮立たせ、沸騰したら春キャベツとトマトを入れて中火で10分煮る。
- ③ コンソメ、塩、こしょうを入れて味を調え、器に盛る。

枚方公済病院

理念 医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。